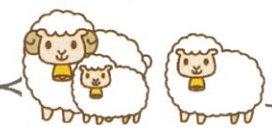


そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 9

2023年11月27日発行



11月の聖句

『涙とともに種をまく人は、喜びの歌とともに刈り入れる』

(詩編126編5節より)

会津の知人からお米が届く。かつて、わたしはその地域の教会で仕え、転任してから三十年。欠くことなく毎年、届く。御礼の電話をかけた。懐かしい声。お父様が亡くなったことを知る。「いまは、妻と二人っきりになった…」という。

その方の家屋は江戸末期に建った伝統的な会津を代表するような大きな農家の木造建築であった。そこで家族が暮らしていた。若かった私は農業に従事する彼から多くのことを学んだ。そのとき、たしか、彼は八人家族。お子さんたちは、皆、家を離れ自立。それは嬉しいことであるが、過疎地における歳月の流れを実感する。

高校の英語の教員をしているKちゃんが、女の子を産んだと聞かされ、いのちが受け継がれてゆくことを、しみじみ思うのだった。

冬支度のお手伝い

11月末に大雪が降りまして、大急ぎで園庭の金平やベンチを片づけていました。

「先生なにしているの？」
「雪が降ったら片づけてるんだよ。」
「手伝うか!?!」
「…ということで、男の子も女の子も年長さんも年中さんも重いベンチやテーブルを協力して運んでくれました。井上先生設計のベンチとテーブルはものすごくしっかりした作りで、(はじ)コに立ってモひっくり返らないほど重いのですわ! 2人で運ぶ強者もいましたよ。」



チャプレン 司祭いけだとおる

「よいしょ! ころしょ! どっしょ! しょ!」

大人も見たいですね! こどもたちは本当に陽気だ、なんでもおもしろから楽しめます。

さあ、いよいよ冬! 園庭にどっさり雪がつもってまたこの季節にしかできないアクティブな遊びも工夫がたがります。楽しみましょう!!

うちのように自主的な遊び(学び)を重視している園の中には、「見せるための行事」をなくしていつている園もあります。でも「演劇」や「歌」「踊り」などは人間が表現したり感受したり解り合う文化なので。

行事に向かう子どもたち

大きな行事が近づくと、ちっとだけ子どもたち、そわそわ... いつもとちがいます。練習はやる気満々でも、やっぱりすこしつかれるのかな。遊びたらないかな。

預かり保育では、ぺったり甘えたり、落ち着かなくなったり... クラスでは、意図せずことばにちっとだけトゲが... ついたり...

練習の前に泣いてしまったり、ということもあります。

ちゃんと覚えていても、ちっちゃな声しか出せなかったり。

とっさにセリフを忘れてしまったり。

こどもたちなりに、やわらかい目で、今、プレッシャーを感じているのさ。

プレッシャーを感じたり、自分に期待したり、なんとか乗り越えようとする気持ち。子どもたちにとってマイナスではありません。いっしょに日々を支えてくれる先生やお友だち、おうちの方がいてくれる。大きな成長のチャンスなのです。



先生たちは、そんな行事を、少しでもこどもたち主体のものにしようと工夫しています。

行事の日だけのためではなく、自分たちの活動として行事が、毎日の中でのイキイキと意味のあるものにして...と日々工夫しています。

バック絵を自分たちで作ったり、行事が終わってからもクラスでたくさん遊べるようにと準備をしています。

来年の行事の行方

★小中学校の夏冬休みが合計で最大56日までに変更と、ニュースで報じられました。確かに今年の夏休み明けは、園庭で遊ぶには命の危険を感じ、毎日室内で遊びました。全室クーラーをかけてもなお、汗だくで遊ぶ子どもたちを見ていると、今は元気だけど急に熱中症になる子がいないだろうか...と、本当に気が気ではありませんでした。夏休みについては今後、岩見沢市の小中学校の動向を聞きながら調整していきたいと思えます。

★そして、運動会についてのお知らせです。このまま変更がなければ、来年は9月27日(金)になる予定です。毎年9月10日前後の土曜日に開催していましたが、今年の暑さで、練習自体に危険を感じたため、時期を遅くしたいと考えていました。来年度はお祭りが土日と重なることもあって、担当の先生が会場に足繫く通い、9月末の土曜日に早めに予約してくれていたのですが、そのあとに大きな大会が入り変更を余儀なくされ、やっと取れたのが9月27日(金)です。月末のしかも週末でお仕事のご都合もあるかと思いますが、どうか午前中だけでも、子どもたちのために予定を組んでくださいますよう、お願いいたします。本決まりになりましたら、正式にお知らせいたします。